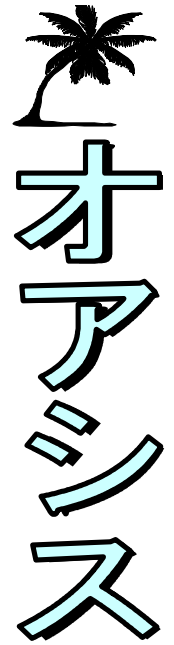


雇用・地域経済を守ろう

日立ジョンソン
コントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2016年7・8月
No. 68
発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

HGST小田原事業所閉鎖

5月にHGSTジャパンの小田原事業所が閉鎖されました。HGSTジャパンは、旧日立製作所の小田原工場より、日立グローバルストレージテクノロジ（日立GST）を経て、ウェスタンデジタル（WD）の買収により設立された会社で、小田原事業所では、ハードディスク事業を展開していました。

黒字であったにも関わらず、WDにより、アジアの数カ所の事業所とともに閉鎖されました。526名の社員の再就職支援を16年5月末最終日とし、パソナ、ハローワーク、産業安定センターを活用して就職先を決めるよう推進しました。しかし、直接員の多くが再就職先も決まらず職場から追い出されている状況となっています。WDの対応は、雇用・地域経済に対する企業の社会的責任を放棄するものです。筆頭株主である日立製作所にも責任があります。WDがHGSTジャパンを買収した背景とは異なりますが、アメリカの企業に買収された日立ジョンソンコントロールズ空調も他人ごとではありません。

ジョンソンコントロールズでは

ジョンソンコントロールズは、買収によって会社規模を拡大させてきた会社です。最近、営業利益率が低い自動車の内装部門を中国の企業に売却し、合弁会社を設立しました。これは自動車部門を他企業の買収によって規模を拡大させてきた一方で、2009年には、大規模な工場閉鎖を行う等、経営環境に悪影響を与え

ていた事などが、原因だと予測されます。

日立ジョンソンコントロールズ空調においても、日頃から、会社の事業計画に注視し、事業所閉鎖等を起こさせないように、取り組む必要があるのではないのでしょうか。

プライベートの管理は問題

選挙で、組合が特定の人物の選挙活動を行い「選挙に行った証拠を持ってきて下さい」という行動は、個人の思想やプライベートを管理する行為に感じて不愉快な気分になるだけなので、このような選挙活動は止めて下さい。

妊娠中も安心して働ける

厚生労働白書において、35歳前後から流産率の上昇・妊娠高血圧症候群・前置胎盤の母体と胎児に与えるリスクなど、妊娠・出産のリスクが高くなることが指摘されています。

会社には、子育て支援として休暇制度・短時間勤務等の制度があります。出産8週間前（多胎妊娠の場合14週間前）の妊娠中の従業員に対する支援制度が会社にはありません。

既存の制度を拡充して、妊娠初期から制度が利用することができると共に、職場における教育・理解を含めた「妊娠中も安心して働ける」労働環境が必要だと思えます。